

別記様式9 別紙

鳥獣被害防止総合支援事業及び鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業の評価報告(平成28年度報告)

1 被害防止計画の特徴等

洲本市

洲本市においては、平成25年度に作成した被害防止計画を3年ごとの平成28年度に見直し作成している。対象鳥獣はシカ・イノシシで、被害減少に向けた捕獲・防除に関する施策が列記している。

2 事業効果の発現状況

金網柵の設置については、集落ごと、又、被害の多いところから地元施工で整備している。金網柵の設置集落については、被害が減っているが、新たに被害が出始めている地域もあり、今後とも箱わな導入による捕獲との一体的な金網柵の整備に取り組んでいく。

3 被害防止計画の目標達成状況

鳥獣の被害状況については、平成25年度(11.48ha 18,730千円)あった被害が、平成26年度(10.33ha 13,794千円)、平成27年度(9.63ha 12,699千円)、平成28年度(7.00ha 9,222千円)と年々減少傾向にある。

4 各事業実施地区における被害防止計画の達成状況

事業実施主体名 (協議会名)	対象地域	実施年度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開始	利用率・稼働率	事業効果	被害防止計画の目標と実績								事業実施主体の評価	第三者の意見	都道府県の評価		
										対象鳥獣	被害金額(千円、%)				被害面積(ha、%)							
											基準年の実績	目標値	実績値	達成率	基準年の実績	目標値	実績値				達成率	
洲本市鳥獣被害防止連絡協議会	洲本市	26	シカ・イノシシ	緊急捕獲活動(緊急捕)	177頭	市	H26	100%	導入した箱わな等で有害期間の捕獲頭数は、H26シカ 256 頭、イノシシ 652頭、H27シカ 315頭、イノシシ 881頭、H28シカ 510頭、イノシシ 871 頭。 侵入防止柵はH26～H28に計25,164m導入した。導入した地域においては被害の低減がみられたが、導入していない地域に新たに被害が発生している。	シカ	7,190	4,732	1,591	228%	3.9	2.8	1	264%	金網柵の設置している集落の被害は軽減しており、本事業と合わせ、集落ぐるみでの被害防止体制の整備や正しい知識を持ったリーダーの育成等、本事業の効果が最大限に発揮されるよう努める。イノシシやシカの被害区域が拡大し、侵入防止柵と同等の整備で効果がみられるが、今後、さらに講習会を重ね地元の特産者と連携しながら捕獲向上を目指す。	防護柵の整備を計画的に進めていることにより、一定の効果が発揮できている。防護柵を整備できていない地区で被害が増えていることが原因と考えられる。引き続き防護柵の整備を進めるとともに捕獲を進め個体数の減少を図り、農林業被害の低減を図る必要がある。 特に、イノシシの生息密度が高いため、更なる捕獲を強化(大量捕獲)するための体制整備を検討していく必要がある。 (森林動物研究センター 廣瀬 泰徳)		
		26		捕獲箱わな導入	40基	協議会	H26.4	100%		イノシシ	3,923	2,661	7,631	-294%	3.0	2.1	6	-333%				
		26		ICT機器の導入	一式	協議会	H26.4	100%														
		27		捕獲箱わな導入	46基	協議会	H27.4	100%														
		27		ICT機器の導入	1基	協議会	H27.4	100%														
		27		金網柵の設置	8,105m	協議会	H28.3	100%														
		27		緊急捕獲活動	シカ 371頭	協議会	H27	100%														
		28		捕獲箱わな導入	54基	協議会	H29.3	100%														
		28		金網柵の設置	4,789m	協議会	H29.3	100%														
		28		緊急捕獲活動	シカ 510頭	協議会	H28	100%														
合計										11,113	7,393	9,222	51%	6.9	4.9	7	-5%					